

ジェネリック医薬品向け輸入原薬の実態

令和8年4月22日（水）

3K-08日薬貿講演会「原薬の安定供給に求められること」

厚生労働大臣登録試験検査機関



一般社団法人 **日本薬業貿易協会**
JAPAN PHARMACEUTICAL TRADERS' ASSOCIATION

<http://www.japta.or.jp/>

原薬調達の現状（1）

- ジェネリック医薬品原薬の**5割程度は輸入**
- **サプライチェーンに海外を含む原薬の割合は7割程度**

薬価基準に収載されている後発医薬品の原薬調達状況（令和5年度）

	金額（出荷ベース） （万円）		品目数 （品目）	
	（n=148）	構成割合	（n=162）	構成割合
1) 後発医薬品の製造販売承認取得品目	116,806,885	100.0%	8,206	100.0%
2) MF または承認書記載のすべての工程を 国内で製造する原薬を使用する品目	29,495,324	25.3%	2,677	32.6%
3) 中間体を輸入し、国内で一部の反応工程 を経る原薬を使用する品目	18,314,267	15.7%	567	6.9%
4) 粗製品又は最終品を輸入し、日本国内 で精製または加工した原薬を使用する品目	3,822,299	3.3%	428	5.2%
5) 輸入した原薬をそのまま使用する品目	60,838,039	52.1%	4,309	52.5%

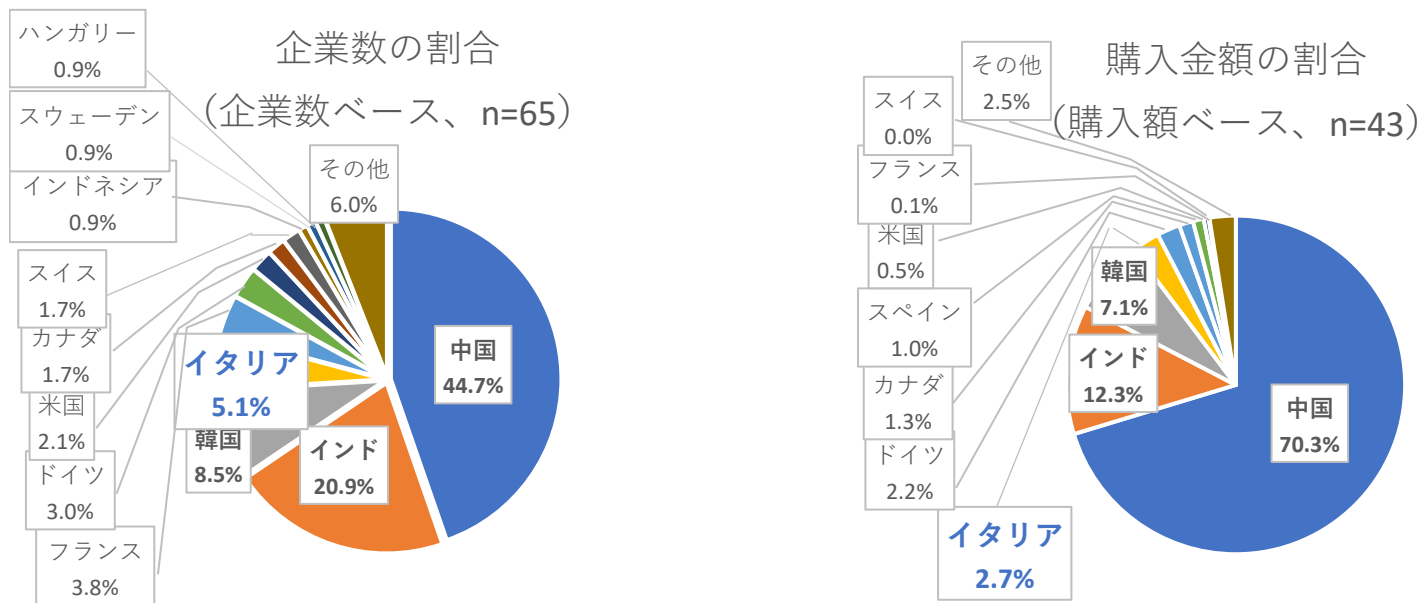
サプライチェーンに
海外を含む

【出典】ジェネリック医薬品・バイオシミラーに関する使用実態・取組状況等に関する調査報告書（令和7年3月）の図表1- 31を引用

原薬調達の現状（２）

- 自社または輸入業者等を介して粗製品または最終品を輸入し日本国内で精製または加工した原薬を使用する後発医薬品の、粗製品または最終品の調達国別の仕入先企業数と購入金額

後発医薬品向け輸入原薬の地域分布（令和6年3月末時点）（１）

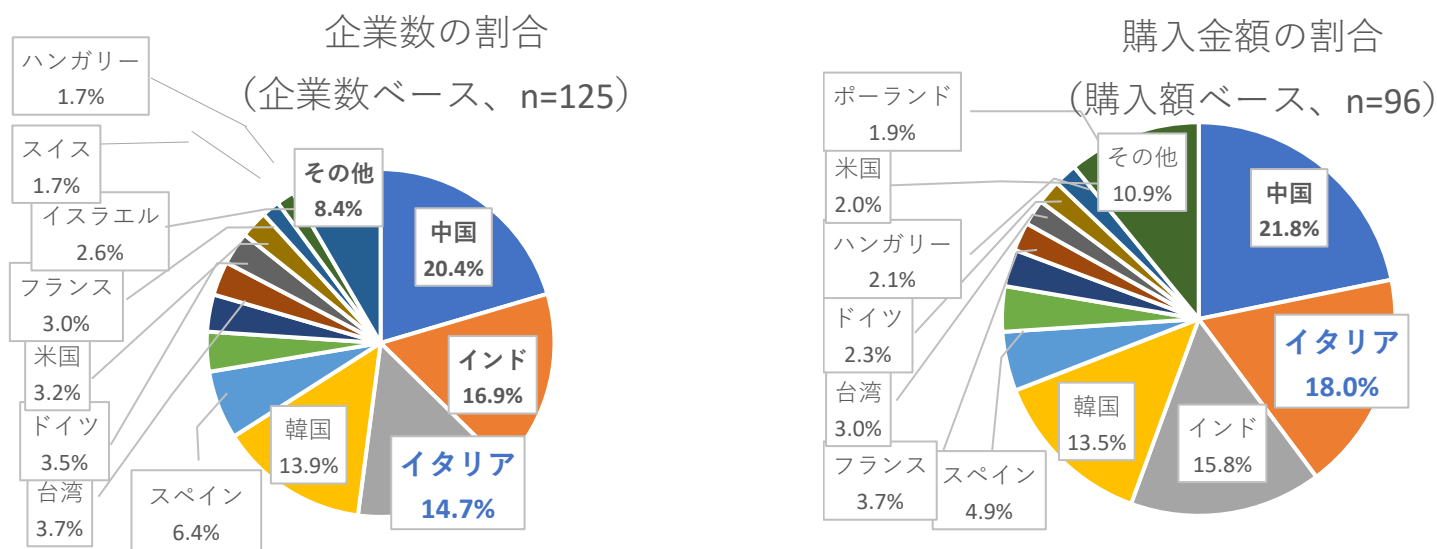


【出典】ジェネリック医薬品・バイオシミラーに関する使用実態・取組状況等に関する調査報告書（令和7年3月）の図表1-32をもとに作成

原薬調達の現状（3）

- 自社または輸入業者等を介して調達した原薬をそのまま使用する後発医薬品の輸入原薬の調達国別の仕入先企業数と購入金額

後発医薬品向け輸入原薬の地域分布（令和6年3月末時点）（2）



【出典】ジェネリック医薬品・バイオシミラーに関する使用実態・取組状況等に関する調査報告書（令和7年3月）の図表1-33をもとに作成

中東※産原薬

※アフガニスタン、アラブ首長国連邦、イエメン、イスラエル、イラク、イラン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、シリア、トルコ、バーレーン、ヨルダン、レバノン、パレスチナ

- ジェネリック各社の「後発品の安定供給に関連する情報（令和8年3月現在）」によると
 - ✓イスラエル 23成分
- 「原薬等登録原簿の公示（令和8年3月現在）」によると
 - ✓イスラエル：4社25成分
 - ✓イラン：2社2成分
 - ✓トルコ：1社1成分
- 「ジェネリック医薬品・バイオシミラーに関する使用実態・取組状況等に関する調査報告書（令和7年3月）」によると
 - ✓イスラエル：のべ43社（2.6%）
 - ✓トルコ：1社（0.1%）

欧州産原薬※への中東情勢の影響（1）（～4月）

※単価が安く、1回の輸送量が大きいもの以外、ほとんどが旅客便で日本に空輸される。

●旅客便の減便（輸送能力低下）

- ✓ 運賃上昇（輸送需要変わらなければ需給悪化）
- ✓ 輸送日数増加（現地での貨物滞留、経路変更）

●燃油サーチャージの値上げ・追加徴収

- ✓ 品目によってサプライヤーが吸収できないものは価格転嫁あるいはサーチャージ導入

●輸送保険料の値上げ

- ✓ 海上輸送で大幅値上げ

●溶媒・燃料・原料の値上げ

- ✓ 在庫・値上げ前の既存契約でカバー
- ✓ 値上げ予告・協力依頼

2024年航空会社貨物輸送量ランク

順位	航空会社	貨物 (百万トンキロ)
1	Fedex	18,133
2	カタール	15,211
3	UPS	15,094
4	エミレーツ	12,354
5	アトラス	11,942
6	ターキッシュ	10,240

出典：IATA

欧州産原薬への中東情勢の影響（2）（5月～）

（欧州原薬メーカー数社へのヒアリングによる）

●航空便のさらなる減便

✓4月中に原油の供給が正常化しなければ航空燃料不足を理由にさらに減便となる可能性

●原料の値上げ

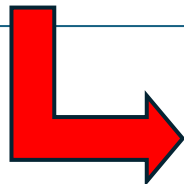
✓値上げ傾向だが製造コストへの影響は小

●溶媒・燃料の値上げ

✓値上げ幅が大きく製造コストへの影響大

✓現状、言い値では買えるが契約のたびに値上げとの話も

✓契約できる供給量は減少傾向



この状況が続けば

6月以降、一部の原薬価格への転嫁？

秋以降は溶媒・燃料の調達にも影響？